



行 推 答 申 第 1 号

平成27年11月20日

水戸市長 高橋 靖 様

水戸市行政改革推進委員会

委員長 馬渡 剛



水戸市行財政改革プラン2016の策定について（答申）

平成27年10月2日付け行革諮問第2号で、当委員会に諮問のありました標記の件について、下記意見を添え、別添のとおり答申いたします。


厳しい行財政環境が続く中、行財政改革プラン2016の基本理念である「強くしなやかな行財政運営の構築」を図るためには、市民目線に立った行財政改革を積極的に進める必要があります。そのため、私たちが審議の中で重視したのは、市民にとってより分かりやすく具体的な計画とすることです。

したがって、年度計画が具体的でない実施項目については、進行管理を行う中で、できるだけ具体化するなど、わかりやすく公表するように努め、市民の理解を得ながら改革を成し遂げていただきたいと考えております。

今後、第6次総合計画の実現に向け、様々な施策を推進するとともに、多様な市民ニーズに応え、行政サービスの質を向上させるためには、職員一人ひとりの努力が求められます。そのため、市長の力強いリーダーシップの下、全職員が一丸となって行財政改革に取り組むことを要望します。

記

- 1 行財政改革の推進に当たっては、地方創生の計画である「水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の趣旨に沿って改革に取り組むこと。
- 2 大型プロジェクトの推進に当たっては、一時的な財政負担の増大が見込まれているため、財政状況について市民にわかりやすく説明すること。
- 3 みとの魅力の発信に当たって、テレビをはじめとした様々な媒体を活用する際は、その効果を十分に検証すること。

- 
- 4 組織・機構の適正管理に当たっては、新たな行政需要への対応も必要ではあるが、簡素化することを基本として取組を推進すること。また、職員定数の適正管理に当たっても、同様に削減することを基本として取組を推進すること。